



基本理念

第3章 基本理念

1 基本理念

本市の緑のまちづくりに関わる全ての人々が共有し、協働して取組を進めていくための羅針盤として、「宇都宮市の緑の取組はいかにあるべきか」を基本理念として示します。



「人とみどりがつながり」には、様々な人や団体等、多様な主体が緑の取組に参加し、緑とつながりを持つことで、多様な機能が発揮される質の高い緑を形成し、地域づくりにつなげていく思いを込めています。

また、地域の特性に応じた緑のまちづくりの実現に向け、場所・規模・地域ニーズ等の「地域のかたち」に応じて、緑によってまちの魅力を創出していくことを、緑ならではの「彩る」と表現しました。

『住まう，働く・学ぶ，憩う等の都市活動の要素を，地域の特性に応じて配置し，連携・補完しながら，誰もが安心して暮らせるまちの実現を目指す。』これが，本市が目指すまちづくりです。

二荒の杜が今も昔も人々の心の拠り所となっている中心市街地，郊外の田畑や果樹園，平地林，桜つつみ等の緑が風景の一部である地域拠点，山林でのアクティビティや特異な景観が人々を魅了する観光拠点等，様々な性格の地域はいずれも，緑が身近に存在しています。

緑は，潤いある景観形成によって魅力的で賑わいある空間を創出し，雨水の流出を抑制しまちの強靱性を高めます。さらに人々の憩い・子育て・健康づくりの場を提供し，花・緑づくりを通じて様々な交流を促します。また生き物の暮らしの場になるとともに，温室効果ガスの吸着を通じて環境負荷の少ない都市を実現します。

こうした緑の機能は，地域に暮らす人々自身が，地域でどのように緑を活かしていくかを模索し，互いに連携しながら，緑の保全・活用・創出に取り組むことで，発揮されていきます。

永い歴史の中で緑に包まれながら成長してきた本市は，多くの人々が緑との関わり合いを持ち続けることで，地域の特性に応じた緑の機能の発揮につなげ，地域の魅力を創出していきます。

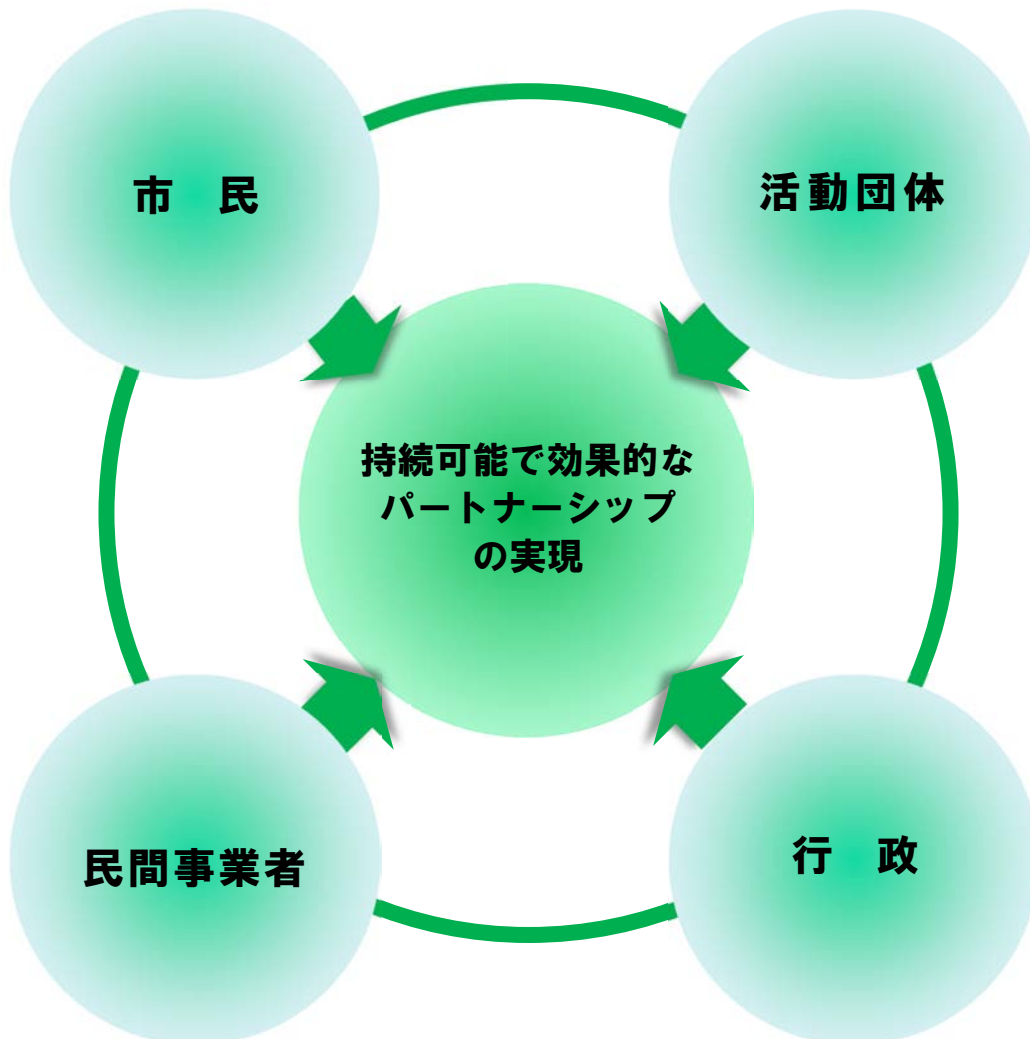
こうした認識のもと，緑のまちづくりの基本理念として，「人とみどりがつながり 地域のかたちを彩る」を掲げます。

2 多様な主体の参画による緑のまちづくり

緑の機能を、スーパースマートシティの実現に向けた様々な場面での確に発揮していくためには、まちづくりに関わる様々な人や団体等、多様な主体が、緑のまちづくりのビジョンを共有し、それぞれの役割を担い、連携し、持続的に取り組んでいく必要があります。

- ・緑を楽しみ、生活に取り入れる
- ・暮らしの中で、庭木を植えたり、花を育てる等、緑の取組に気軽に関わる 等

- ・専門分野を活かして緑地保全・緑化に取り組む
- ・若い世代をはじめ、幅広い市民に発信する 等



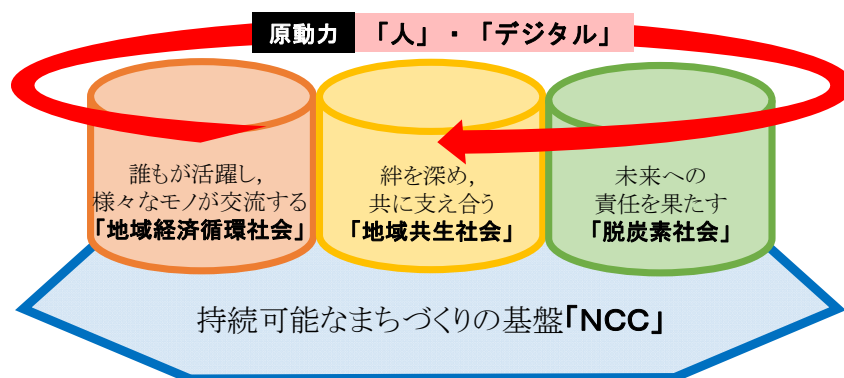
- ・民間の柔軟なアイデア、資金、技術等を緑地保全・緑化の取組に提供する
- ・まちの一員として、緑化・緑地保全に取り組む 等

- ・緑の取組を計画的に実施・改善する
- ・様々な主体の連携を促進、支援する 等

3 スーパースマートシティと緑

スーパースマートシティとは

本市が実現を目指す「スーパースマートシティ」は、NCC（ネットワーク型コンパクトシティ）の都市構造を土台として、人とデジタルを原動力に、地域住民の絆を深め、共に支え合うことができる「地域共生社会」、誰もが活躍し、多種多様なモノが交流する「地域経済循環社会」、二酸化炭素排出量を実質ゼロとし、未来への責任を果たす「脱炭素社会」の3つの社会の構築を進めていくものです。



スーパースマートシティのイメージ

スーパースマートシティの実現への緑の貢献

スーパースマートシティの実現に向けて、緑の多様な機能は、様々な形で貢献することができます。土台であるNCCの形成に向けて、市街地を包むように広がる山林や農地があることで、都市活動と自然との触れ合いの両立を実現することができます。

「地域経済循環社会」の形成に向けて、緑があることで、人々が活動する都市空間をより居心地の良いものにすることができます。「地域共生社会」の形成に向けて、緑は、子どもから高齢者まで様々な人の交流の場を提供することができます。「脱炭素社会」の形成に向けて、緑は、エネルギー消費を軽減し、温室効果ガスを吸着します。

このように緑は、スーパースマートシティを実現していく上で必要不可欠です。

潤いある都市景観の形成



自然を活かした観光交流



雨水の貯留・浸透



活動の場の提供



交流機会の創出



緑陰形成, エネルギー消費抑制



生物の生息・生育環境形成



地域経済循環社会の形成

- ・都市の資産価値向上
- ・安全安心, 強靱性確保

地域共生社会の形成

- ・健康福祉, 子育て, 教育
- ・地域コミュニティの醸成

脱炭素社会の形成

- ・環境負荷の軽減
- ・生物多様性の保全

本市が目指す3つの社会の形成に向けた緑の機能発揮

等

コラム：グリーンインフラの特徴と意義

グリーンインフラとは、社会資本整備や土地利用等のハード・ソフト両面において、自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある国土・都市・地域づくりを進める取組です。スーパースマートシティの実現に緑が貢献していくことは、本市ならではのグリーンインフラの取組と捉えられます。

① 機能の多様性

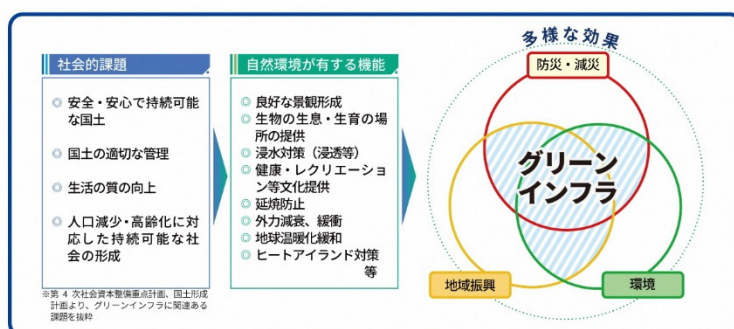
- ・ 自然環境が有する多様な機能を活用していく取組です。
多様な機能の例：生物の生息・生育の場の提供，雨水の貯留・浸透による防災・減災，水質浄化，水源涵養，植物の蒸発散機能を通じた気温上昇の抑制，良好な景観形成，農作物の生産 等
- ・ こうした機能は、個別の施設にとどまらず，エリア全体の資源や空間を活かすことで，より効果的・多面的に機能を発揮することが期待されます。

② 多様な主体の参画

- ・ 多様な機能を活用していくことから，地域住民との協働や民間企業との連携により，多様な主体が関与することが期待されます。
- ・ 様々な人がグリーンインフラの取組に関わることで，コミュニティの形成や，外出機会の創出による心身の健康増進も期待されます。

③ 時間の経過とともにその機能を発揮する

- ・ グリーンインフラの機能は，植物の生育等時間の経過とともに変化する特徴があります。
- ・ したがって，適切にマネジメントする必要があるし，地域住民等の多様な主体が参画して，持続的に維持管理していくことが期待されます。



○ 防災・減災や地域振興、生物生息空間の場の提供への貢献等、地域課題への対応

○ 持続可能な社会、自然共生社会、国土の適切な管理、質の高いインフラ投資への貢献

グリーンインフラの考え方
図出典：国土交通省資料

